

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「実(じつ)」を大切に

理科の時間、大豆を使って実験をしていた時のことです。

「先生、何で豆は白いのや黒いのや緑なのがあるんだろう。」

あまりに素朴な疑問に困っているとある子が答えました。

「・・・あつ、鳥に食べられないためじゃない!豆が黒い土の上に落ちたとき目だたないから。」

その答えにみんな納得。さらに子ども達の発想は広がります。

「グリーンピースは草っ原に落ちたとき目だたないためかなあ。」

実は以前、学級園に豆を植えた時、鳥に全部食べられてしまったという経験があったのです。

理科の授業をしていると、こうしたさまざまな(豊か・ユニーク・本質的・奇想天外)な児童の発想に出会えて、うれしい気持ちにさせてもらえます。

理科という教科では、実験や観察をとて大切にします。実物にふれ、実際に体験をするからこそ、

豊かな発想ができたり自分なりの思いを持ったりできるのです。

しかし、大切な「実」が現在子ども達の回りからどんどん消えていくように思います。テレビやインターネット・携帯電話などは仮想・虚構世界です。テレビで見ただけで本当に見たつもりになったり、インターネットで調べただけでわかったつもりになったりしがちです。そうすると、地域や身近な物事の中にあるすばらしいものに目が向かなくなつてしまいます。

季節はちようど萌え出る春。子どもたちが身の回りの実物を実際にふれる・体験するよい季節です。幸いこの鏡野は自然や文化がとても豊富です。都会では決してできない体験ができます。そうした「実」の体験が、地域の自然や文化を大切にしたいという思いを育んでいくのではないのでしょうか。

「実」を大切にしながら、心豊かな鏡野の子を育てていきたいものです。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鶴喜小学校 有元 恭志

のびのびひろば

(富保育園)

♪あかりをつけましょ ぼんぼりに〜♪

富保育園では、今年も段飾りの雛人形と子どもたちの手作りのお雛様を飾り、ひな祭りをしました。元気に大きくなりますようにと祈りながら...

また、ワクワククッキングで、自分たちで切ったり、焼いたりしたキュウリ、ソーセージ、卵焼きをのせて『手巻き寿司』をしました。

みんなで食べるとおいしいね!!



よくかきまぜて♪〜



ひだりては ネコので
にして しんちょうに...



たまごやきは
やけどしないように...



もうすぐ卒園の三人で
ハイ、ポーズ!



自分で描いた おひな様



手づくりの おひな様